


## レンゲツツジと新緑を求めて尾根を歩く 雁坂峠~水晶山・古礼山・燕山


実施日 2018年6月8日(金)~9日(土)

天候 晴れ

リーダー 白石 恵美子

参加者 白石恵美子、石附智江、中村友子、石原勝正、徳山敬子、宮崎敏男 計6名

費用 JR2,634円(立川起算)、4,520円 宿泊費5,000円(素泊り)

タイム 6/8 塩山駅(8:44~8:55)雁坂トンネル入口(9:20~9:31)沓切沢出合(10:55)雁坂峠(13:24~14:03)雁坂小屋(14:11)

6/9 雁坂小屋(5:30)水晶山(6:15~6:34)古礼山(6:54~7:12)燕山(8:04~8:14)雁峠(8:43~9:18)笠取山(10:03~10:21)笠取小屋(11:22~11:29)作場平橋(12:32)

6/8 雨予報のため、1日前倒ししたので、参加できなくなった方には申し訳なかったが、サンデー毎日組6名が、雁坂トンネル入口でタクシーを下り、橋を渡り、車道を左に行くべきところを、最初4~5分程右の方に歩いてしまう。しかし、Nさんが気づいて、すぐに戻ると、「雁坂小屋方面」と書かれた標識が橋の袂に



落ちている。正しい(左)方向へ歩き始め、車道が終わると、沢を渡る所が数ヶ所あり、冬に

滑落事故があったとヤマレコに書いてあった所ではないかと思われるトラバースを含め、慎重に渡る。沓切沢出合、井戸ノ沢出合を過ぎ、日本の三大峠の一つである雁坂峠への急

登が始まる。

ジグザグの急斜面を登り、やっと到着した雁坂峠(奥秩父縦走路と秩父往還の交わる)は、素晴らしい眺めで、爽やかな風が吹き、ゆっくり



休憩する。

富士山・北岳・間ノ岳の日本の標高ベスト3が眺められる。他にも「あの山は乾

徳? 倉掛?」などと言いながら、ゆっくり休む。いつまでも居たいと思うような峠である。

存分に景色を堪能した後、10分程で雁坂小屋に到着。小屋番の山中さんが熱いコーヒーとケーキで出迎えてくれる。寝具も綺麗で、夕方と早朝はストーブも点けてくれる心遣いがありがたい。小屋は我々の他に4人のパーティ1組のため、ゆったりと快適だ。夕食は各自持ってきたアルファ米などで済みます。

6/9 早めに朝食を済ませ出発。小屋から2~3mの所で、甲武信岳方面への道と水晶山方面への道が分かれる。小さなアップダウンはあるものの、大した急登もなく、景色を眺めながらのんびりと尾根



道に行く。水晶山、古礼山と進む。まさに「秩父山地緑の回廊」と言う



名にふさわしい道だ。古礼山では富士山の眺めが素晴らしく、のんびりティータ

イム。その後、間もなく、直登する道と巻き道があり、どちらを行こうか少し迷った後、巻き道を進んだが、尾根の方が眺めはいいし、尾根は外さない方がいいと思い、すぐに尾根



に戻り、更に進むと、「燕山」と書かれた小さな板切れが木に括り付けてあるだけの地味なピ

ークに着く。

巻き道は燕山の50mほど先で尾根道と合流。巻き道を行った数人は荷物を置き、燕山のピークに来て、集合写真をパチリ。そこから少し急な斜面をジグザグに下ると広々とした雁峠に到着。



朝食が早かったため、次に控える笠取山の急登に備えてガソリンを補給。雁峠

出発前にクリンソウの群落を発見、皆で撮影会。その先を更に進み、「小さな分水嶺」の案内板を見て、本日の目玉である笠取山の急登に取り付く。



急ではあるが45分程

で「山梨百名山」の標柱がある西の山頂に着く。

そして岩っぽい道を通り、間もなく標高点のある東の山頂があるが、こちらの方が狭い。



当初はピストンの予定だったが、登って来た道はすごく急なため、水干を通るコースの方がいいとのこと、そちらを下ることに変更。山頂からは岩と木が茂った急な下りになる。ショートカットコースを示す「水干・笠取（「小屋」の部分が割れてる）」の小さな看板があったが、左の方向に向いていた為、間違えそうになったが、Nさんが気づいてくれて正しい右の道に行く。

その先の多摩川の源頭の水干では残念ながら「最初の一滴」を見ることはできなかった。水干を過ぎて、「小さな分水嶺」を経て、雁峠分岐に戻り、笠取小屋を通り、最初は林道のような道だが、その後また山道になり、ヤブ沢峠からは数えきれない程の木の橋を渡り、今日のゴール、作場平口に向かって一気に下る。途中で呼んだタクシーが待っていてくれる。



キャッチフレーズのレンジのレンゲツツジもシクナゲもほとんど終わってしまっていて見られなかったのは残念だが、眼も覚めるような鮮やかな新緑と眺望がその残念さを補って余りあったのではないかと思う(自画自賛?)。

道も良く整備されていて歩きやすかった。ともかく、頼りないリーダーを助けて下さった皆さん、ありがとうございました。

天気も味方してくれ、楽しい山行になりました。また、ご一緒に！よろしくお願いします。

(記&写真・白石 恵美子)

(写真提供・石原 勝正)